

2018年2月27日

【エンプロイヤーブランド・リサーチ 2018 ランスタッドアワード】
勤務先として魅力ある企業を明らかにする世界最大規模の調査
パナソニックが、最も魅力ある勤務先に決定！
2位 トヨタ、3位 日清食品、海外企業部門 1位は Apple Japan

電気機器メーカーの首位獲得は 2012 年振り

世界最大級の総合人材サービス会社ランスタッドホールディング・エヌ・ヴィー(本社:オランダ王国ディーメン、CEO: ジャック・ファン・デン・ブルック)の日本法人であるランスタッド株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:猿谷哲、以下ランスタッド)は、勤務先として魅力ある企業を世界共通基準で測る「エンプロイヤーブランド・リサーチ 2018 ランスタッドアワード」の日本の調査結果を発表しました。調査の結果、今、最も魅力のある勤務先に**パナソニック**が選ばれました。



▲エンプロイヤーブランド・リサーチ 2018 ランスタッドアワード 受賞企業

■エンプロイヤーブランド・リサーチ 2018 ランスタッドアワード 特筆事項

- ✔ パナソニックが総合 1 位を獲得！ 2 位にトヨタ自動車、3 位に日清食品 HD
- ✔ 海外企業部門は、ジョンソン & ジョンソン、コカコーラを抑え、Apple Japan が 1 位を受賞
- ✔ 業界別の表彰では、情報通信で楽天、金融／保険で日本郵政が初の 1 位に
- ✔ 注目企業部門 1 位は Google Japan

優秀な人材の獲得とエンゲージメントの向上は、企業が持続的に成長し、グローバル競争に勝ち残っていくための重要な鍵となります。それに加え、超少子高齢化社会を迎える日本では人材の確保自体が課題になりつつあります。そのような状況の中で「エンプロイヤーブランディング」は、雇用戦略としてだけでなく、経営戦略の大きな要です。ランスタッドは本調査を通じて、企業・団体の採用活動や組織力向上に貢献することを目指しています。

▼本年度の調査の詳細は、次ページ以降を参照ください

エンプロイヤーブランド・リサーチ 2018 ランスタッドアワード 各賞の結果

パナソニックが総合 1 位を獲得！ 2 位にトヨタ自動車、3 位に日清食品 HD

パナソニックは昨年 5 位から初の 1 位受賞となりました。仕事内容や革新的な技術、社会的評価の項目で特に支持を受けている結果でした。昨年まで食品・飲料メーカーが毎年総合 1 位を獲得していましたが、電気・精密機器メーカーがトップに輝くのは、日本での初開催である 2012 年にソニーが受賞して以来 **6 年振り**。本年度はソニーも昨年 8 位から 4 位に順位を上げており、**日本の働き手の関心が電気・精密機器メーカーへ戻ってきていることがうかがえる結果**でした。

2 位のトヨタは、給与水準、職場環境、安定雇用などが回答者から高く評価され、3 位の日清食品 HD は、仕事内容の点で働き手の関心を集めていることが分かりました。

<総合 Top20>

1位	パナソニック	<5>	11位	サントリーホールディングス(サントリー)	<3>
2位	トヨタ自動車(トヨタ)	<2>	12位	花王	<11>
3位	日清食品ホールディングス(日清食品)	<1>	13位	アサヒグループホールディングス(アサヒ) ◎	<26>
4位	ソニー	<8>	14位	本田技研工業(ホンダ(HONDA))	<17>
5位	味の素	<10>	15位	麒麟ホールディングス(麒麟)	<7>
6位	全日本空輸(ANA)	<12>	16位	日立製作所(日立(HITACHI))	<6>
7位	日本航空(JAL) ◎	<21>	17位	TOTO ★	<29>
8位	明治ホールディングス(Meiji)	<4>	18位	日本電信電話(NTT)	<15>
9位	キヤノン	<9>	19位	資生堂	<16>
10位	楽天 ★	<->	20位	東レ(TORAY) ★	<77>

()の表記は、全て調査時のもの / <>は、昨年の順位 / ★印は、初めて TOP20 入りした企業 / ◎印は、昨年 TOP20 圏外だった企業

海外企業部門は、ジョンソン&ジョンソン、コカコーラを抑え、Apple Japan が 1 位を受賞

海外企業部門は、1 位に Apple Japan、2 位にジョンソン・エンド・ジョンソン、3 位に日本コカ・コーラが選ばれました。

<海外企業部門 Top5>

1位	Apple Japan	<->	4位	アマゾンジャパン(Amazon Japan)	<1>
2位	ジョンソン・エンド・ジョンソン	<2>	5位	日本アイ・ビー・エム(日本 IBM)	<8>
3位	日本コカ・コーラ(コカコーラ)	<6>			

()の表記は、全て調査時のもの / <>は、昨年の順位

業界別の表彰では、情報通信で楽天、金融／保険で日本郵政が初の1位に

業界別ランキングでは、情報通信／サービス業で楽天市場などを展開する楽天が、金融／保険ではゆうちょ銀行やかんぽ生命などを有する日本郵政が、初めて1位に輝きました。

<業界別 Top1>

建設／不動産／住関連	TOTO
食品／飲料	日清食品ホールディングス(日清食品)
ヘルスケア／ホームケア／化学	花王
資源／素材	東レ(TORAY)
機械／輸送用機械	トヨタ自動車(トヨタ)
電気機器／精密機器／そのほか製造	パナソニック
商社／卸／小売業	伊藤忠商事
金融／保険	日本郵政(日本郵政、かんぽ生命、ゆうちょ銀行)
運輸	全日本空輸(ANA)
情報通信／サービス業	楽天

()の表記は、全て調査時のもの

注目企業部門1位は Google Japan

革新的な技術やサービスで新たな価値を提供する企業を選出した注目企業部門では、1位に Google Japan、2位にカルビー、3位にクックパッドが選ばれました。

<注目企業 Top5>

1位	Google Japan(グーグル)	4位	ヤフー(Yahoo)
2位	カルビー	5位	キーエンス
3位	クックパッド		

()の表記は、全て調査時のもの

エンプロイヤーブランド・リサーチ 2018 ランスタッドアワードとは

「勤務先としていま最も人材をひきつける魅力のある企業」を第三者機関である TNS/JWT(本社イギリス/アメリカ)に委託する調査によって選定し、表彰を行います。2000 年にベルギーで初めて発表して以来、世界共通基準のもと各国で毎年実施され、「エンプロイヤーブランド(企業魅力度)」を測る世界最大級の調査として高く評価されています。日本では 2012 年から開始し、今回で 7 回目の実施です。

エンプロイヤーブランド・リサーチ 2018 ランスタッドアワード 国内実施概要

日本の調査では 18 歳から 65 歳までの男女 7,105 名に対し、調査対象の 225 社について「社名を知っているかどうか」と「その企業で働きたいかどうか」を問い、評価の高い企業を明らかにしました。また、勤務先選択の際に重視する指標についての調査も実施しました。

同様の調査は、**オーストリア、ギリシャ、ドバイ、チェコ**が新たに加わり、世界 30 の国と地域で行われ、日本での開催を皮切りに、各国にて順次結果発表・表彰が行われます。

【国内調査実施概要】

- 調査対象 18 歳から 65 歳までの日本人男女 7,105 名
- 調査期間 2017 年 11 月 10 日～12 月 1 日
- 調査方法 インターネットによる Web アンケート形式
- 調査結果発表 2018 年 2 月 27 日(火)
- 公式サイト <https://www.randstad.co.jp/award/>
- **エンプロイヤーブランド・リサーチ 2018 ランスタッドアワード 開催地域**
 ヨーロッパ : オーストリア、ベルギー、チェコ、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、イタリア、
 ルクセンブルク、オランダ、ポーランド、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、スイス、UK
 アメリカ大陸 : アルゼンチン、ブラジル、カナダ、USA
 APAC/その他: オーストラリア、中国、ドバイ、香港、インド、日本、マレーシア、ニュージーランド、ロシア、
 シンガポール

以上 30 の国と地域

※ 各データの詳細及び調査報告書をご希望の方は、広報担当までお問い合わせください。

○ランスタッド株式会社 会社概要

[社 名]	ランスタッド株式会社
[設 立]	1980 年 8 月
[代 表]	代表取締役会長兼 CEO カイエタン・スローニナ 代表取締役社長兼 COO 猿谷 哲
[所 在 地]	東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート 21F
[T E L]	03-5275-1871(代)
[資 本 金]	1 億円
[事 業 内 容]	人材派遣サービス/紹介予定派遣サービス/人材紹介サービス/再就職支援サービス/ アウトソーシング事業
[U R L]	www.randstad.co.jp